

二月は‘逃げる’それほど時間の流れを速く感じる月です。

年長組は卒園と小学校に向かって、年中、少組はもうすぐ大きいクラスへと進級、子どもなりに自負と期待をもって園生活を楽しんでいます。

親御さんには少しの不安がありつつも、子どもさんの今後の成長を楽しみにされていることでしょう。通常では十人十色で「子育てに正論はない」と言われます。子どもは「親の思いとおりに育たない」が実際です。ですからどうしても、子どものこれからの先の事ばかりが気になり、ついつい、焦って子どもに当たったりしがちではありませんか。時には「沈黙」、静かに見ていてやる、このおおらかな姿勢が必要です。理想的にはいきませんし、子育ては根気のいる大仕事ですね。

子供の成長に必要な基本

1. あそぶ・外で内で、体を動かして遊ぶ・脳内が活発に動いています

スマホの怖さ・・・乳幼児にスマホを見せれば、その画面や動きに好奇心が刺激され、すぐに扱い方を覚えます。これを「賢い」などと喜んでいては子どもの将来、確実に中毒に進みます(裏面)

2. 睡眠・・・少なくとも9時間眠る。寝ている間にも脳は働き成長します

3. 食事・・・朝ごはんを必ず食べる。よくかんで食べるとあらゆる病気の予防になります

4. お勧め:時にはくすぐったり、相撲をしたり、親子であそぼう スキンシップあそびを。

- ほめられた行動も、叱られた行動も繰り返す・・・人間の習性・・・だとすれば「ダメだ。ダメだ」と叱るよりも、小さなことでも認め「うまくなったね」「この前より早くなったよ」などの言葉がけをお勧めします。

「・・・どんな子どもでも、みんな、才能のシグナルを発信しています。・・・特別な悩みはないけれど、このままでいいのかな。この子に才能なんかあるのかな?」・・・どうやって見つけましょうか。・・・親も本人も気づいていないだけで、子どもは生まれながらにして才能の芽をもらっているのです。・・・それは本人が何をしたいか、何をしている時に気持ちを鼓舞されるのか、素直に感じ取っていくしかないのです。・・・子どもが自分で何をやりたいかを見つけるまでそっと応援していくために、その時が来たら子どもの才能に気づいてあげられるように、親は心をやわらかくしておきたいです」 『最高の子育て』～小児科医のほくが伝えたい～

高橋孝雄

だから明日の事は思い悩むな。明日のことは明日自らが、思い悩む。

その日の苦労はその日だけで充分である。

新約聖書 マタイ6:34